

助成事業実施報告書

団体名.....公益財団法人 京都 YWCA

代表者・役職名 氏名 代表理事 上村 愈巳子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

カルーナ:こころとからだの自律準備プログラム～達成から自信へ～

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

京都 YWCA は、女性が中心となって運営する市民団体です。1人ひとりが大切にされる「共に生きる世界」を目指して様々な活動を行っています。2015年に自立援助ホーム「カルーナ」を開設し、社会的養護の必要な女子に安全かつ安心して生活できる居場所を提供し、就労などの支援を行っています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

就労支援、自立生活支援を目的に自立援助ホーム「カルーナ」を運営しているが、利用者の多くは基本的な対人関係の構築・コミュニケーション力に課題があり、心身のコントロールをすることが難しいのが実情です。就労や就学を継続していくためには、基本的な人間関係のトレーニングを兼ねた自尊感情を高める経験プログラムが必要だと考えました。一人ひとりの関心と特性に合わせた「初体験」を他者と一緒に経験していく機会の提供を目的としました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

(1) 心身のセルフコントロール力を培うプログラム

①整体(月2回程度):年度途中から講師の体調不良もあり、月1回となる時も生じた。年間通して、同じ先生との対話を重ねながら自分の身体に関心を寄せる時間をもつことができた。継続することにより、先生も参加者個別の日常の変化にも留意して対話をすることができた。

②ストレッチ(月1回程度):講師の都合や利用者の都合で時間を少し変更したりしながら、「月1回」の特別な時間を生み出すことができた。「ストレッチ」を目的としないで、「リラックスタイム」と講師が呼び掛けてくださり、まずは、お茶をのみながらほっこりと話をする時間も設定し、そこで「今、話したいこと」を話す利用者に、講師が耳を傾けてくださった。その上で、「教えてもらう」「やってもらう」ではなく、自分の身体の痛いところ、固いところ、ストレスがかかっていることを自分で確かめながら「気持ちよくなる」ことを実感してもらうように努めました。

身体の痛みや気持ちよさに耳を傾けることを月に1回でも実感することを積み重ねていくことから始めることが大事だとみんなで確認できました。

(2) 想いをカタチにするプログラム

①学習タイム 高校生向けに、「何でも聞いてみよう」プログラムを大学生ボランティアと一緒に開始。テスト前には、テスト対策もしながら、学校でのこと、「勉強する」ということについての、自分スタイルと一緒に考えてもらう時間にしたいと考えています。

②英語にチャレンジ YWCA で、留学生や日本語を勉強しに来ている外国人のお母さん・子どもと接する機会があ

り、「英語でコミュニケーション」への関心をもった利用者向けに、フィリピン人の英会話講師と一緒に英語で自分のことを話す、表現することに取り組みました。なかなか「英語で」にはならないのですが、外国人に自分のことを話す、自分について言語化する時間として有意義な時間になりました。中には、特別に「英語で歌おう！」というこ
とで、発声についても教えてもらいながら、英語で歌を歌うことにもチャレンジしました。

③(外出)プログラムへの参加

日韓ユース交流プログラムに参加して韓国のユースと一緒に京都の町中を散策。

④One Camp への参加「One Camp 異なる人と共に過ごすキャンプ」

利用者、退所者に呼びかけて、神戸 YMCA が企画準備した「One Camp」に参加することができました。利用者各自の体調等に合わせた日程での参加も可能で、余島という環境の中で、他者と一緒に自分が楽しいと思える時間を創造する体験をすることができました。一人ひとり、たくさんの「初体験」をすることができました。

(One Camp 報告書参照)

(3)支援者の研修

①講座・学習会(「発達障がい」「心理的支援」「貧困と若者」など、年3回程度)

第1回目「貧困世代の未来を考える」講師:藤田

第2回目「発達障害と」講師:古田直樹

②相談員のためのケース協議の開催(年3回)

支援に当たる際に気になる点や、懸案事項を出し合い、対応について共有し、協議する機会となりました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT.実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME.事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT.事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

からだに関するプログラムが定期開催(月1回以上)開催でき、ゲストと参加者がお互いに対話を重ねる時間を共有することができた。(毎回の参加者は平均3人)。結果、じっくりと「自分につきあってくれる」大人と一緒に、「自分と向き合う」対話の経験値を上げることができた。②参加者一人一人の想い(希望)を実現していく体験機会の企画も、先に利用者のリーズを聞き、条件等を聞きながら企画できたので、満足度が高かった。また、「One Camp」への参加は、普段、社会的養護の子どもたちと出会う、交流する機会のない、大学生ボランティアリーダーや障がいのある人、外国ルーツのこども、福島からの中高生と過ごす数日間となり、社会の中で見えにくい「多様性」「少数者」を包括していく社会の在り様を考えさせてくれる得難い時間と空間となった。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

*「からだプログラム」は、彼女たち一人ひとりが自分自身の身体とところに向き合う大事な時間であり、これからの自分を考えるためにも必要な時間だと考えている。アルバイト等で時間の都合がつきにくい人にも、違う形で「内省」する時間を誰かと作っていくことを模索したい。

*各自が個人として体験できることをまず積み重ねる必要があるが、そこからカルーナの「外へ出て」社会の人と関わっていく経験値を増やしていくことが必要である。

*退所者も参加対象者としているが、なかなか参加を遠慮する傾向もあるので、退所者ならびにその他の「生きづらさ」を感じている若い女性(少女たち)の「居場所カフェ」事業のような展開を考えていきたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

「貧困世代」の未来をどう創るか ～若者の貧困を考える～

講師 藤田 孝典 (NPO法人ほっとプラス代表理事、聖学院大学人間福祉学部客員准教授)

『現代の若者たちは、自力ではもはや避けようがない、日本社会から強いられた貧困に直面している。それは一過性の困難さではなく、その後も続き生活の様々な困難さや貧困を抱え続けてしまっている世代である』*という。一方、私たちは、「働きが良くない」若者たちを、生きづらさを感じる若者たちを、自己責任という言葉で、自身の頑張りが足りないからだ、という視線でとらえていないでしょうか。

「住む」ことが難しい、「働く」ことが難しい、生きることがつらい、若者たちの現実を講師から学びつつ、この「貧困世代」の未来をどう創っていくことができるかを一緒に考えたいと思います。

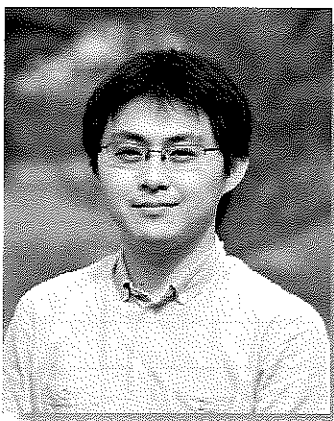
*『貧困世代 社会の監獄に閉じ込められた若者たち』 藤田孝典著

日時 2018年 6月9日(土) 15:00～18:00

場所 京都YWCA (京都市上京区室町通り出水上) ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 一般 1,000円、学生 500円 (茶菓つき)

※要申込 FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。

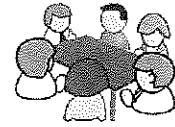


藤田 孝典 ふじた たかのり

1982年生まれ。首都圏で生活困窮者支援を行うソーシャルワーカー。NPO法人ほっとプラス代表理事。聖学院大学人間福祉学部客員准教授。反貧困ネットワーク埼玉代表。ブラック企業対策プロジェクト共同代表。厚生労働省社会保障審議会特別部会委員(2013年度)。著書に『貧困クライシス』(毎日新聞出版 2017)『続・下流老人』『下流老人』(朝日新聞出版 2015・2016)『貧困世代 社会の監獄に閉じ込められた若者たち』(講談社 2016) など多数。

◎スケジュール◎

- 15:00～16:15 開会・講演
- 16:15～16:30 コーヒーブレイク
- 16:30～17:30 グループディスカッションとシェアリング
- 17:30～18:00 講師からの応答



＜京都YWCAのご案内＞ 場所：京都YWCA

◎読書会 松田晴子著『英子の森』河出文庫

日時：2018年5月9日（水）
参加費：500円（要申込）

◎～信楽へのもりだくさんツアー！～

田んぼで畦づくり体験・クリスさんのお話
～市居みかさん（絵本作家）読み語り～
日時：2018年5月13日（日） ※雨天決行
行き先：滋賀県甲賀市信楽町 ※貸切バス利用
参加費：小学生2,500円、おとな3,500円

◎京都YWCA英会話クラス2018年度 4月スタート

大人クラスは、レベル別に初級から上級まで
グループレッスン7クラス。無料体験随時受付中！
プライベート、セミプライベートもご相談ください。

「修学院フォーラム」のご案内

主催 関西セミナーハウス活動センター
会場 関西セミナーハウス

「福祉」第2回2019年2月16日（土）

「山室軍平って知っていますか
—新島襄の福祉思想と「良心」の系譜—
講師：木原 活信（同志社大学社会学部教授）

「社会」第2回 5月12日（土）

「東アジアの平和と和解—近代日本人の
アジア認識と平和の取り組みの可能性—
講師：山本 俊正（関西学院大学商学部教授）

第3回 6月30日（土）

「民族主義と普遍主義のはざままで
—旧約聖書から国際平和を考える—
講師：月本 昭男（上智大学特任教授）

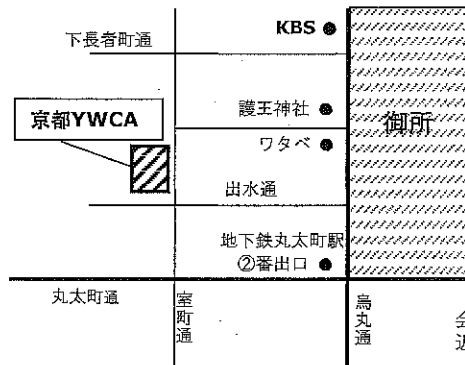
「いのち」第1回 7月7日（土）<老いの日をいかに生き、支えるか 2

【申込み＆問合せ】

公益財団法人京都YWCA

〒602-8019 京都市上京区室町通水上ル

tel. 075-431-0351
fax. 075-431-0352
office@kyoto.ywca.or.jp
http://kyoto.ywca.or.jp/



YWCAは、キリスト教を
基に、世界中の女性が言語
や文化の壁を越えて力を合
わせ、女性の社会参画を進
め、人権や健康や環境が守
られる平和な世界を実現す
る国際NGOです。

会場に駐車場はありません。
近隣のパーキングをご利用ください。

【共催】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
所長代行 榎本 栄次
担当 都木かおり

電話 075-711-2117(直)
FAX 075-701-5256
電子メール office@academy-kansai.org
http://www.academy-kansai.org

——— 2018年度 京都YWCA「公開講座」／修学院フォーラム「福祉」第1回 参加申込書 ———

(フリガナ)	
名前	所属
住所〒	
電話 () - ()	FAX () - () 携帯 ()
電子メール:	@
通信欄:	



子育てワークショップ

子どもの育ちと発達障がい

子どもはそれぞれ様々な育ち方をしていきます。
 その中には発達に難しさを抱え、発達障がいというような子どももいます。
 しかし、子どもは必ず育っていきます。
 改めて子どもの育ちにとって何が大切なのかを一緒に考えてみませんか。

日時：2018年10月27日（土）10：30～12：00

場所：京都YWCA ホール

講師：古田 直樹さん

（京都市児童福祉センター 臨床心理士・臨床発達心理士）

参加費：1,000円

保育：有 子どもひとりにつき300円

★ご希望の方は、お電話にて10月20日（土）までにお申込みください。
 お手数ですが、裏面の保育申込書のご提出をお願いします。
 （FAX・メール可）

～「真如苑助成事業」～

お問い合わせ・お申し込みは

京都YWCA

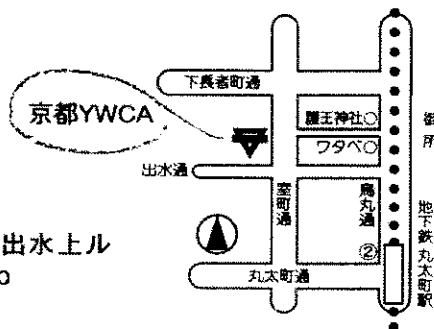
tel 075(431)0351

fax 075(431)0352

☎602-8019 京都市上京区室町通水上ル

e-mail office@kyoto.ywca.or.jp

http://www.kyoto.ywca.or.jp



YWCAは、キリスト教を基盤に
 世界中の女性が言語や文化の
 壁を越えて力を合わせ、女性の
 社会参画を進め、人権や健康や
 環境が守られる平和な世界を
 実現する国際NGOです。

calluna News 第7号

2018年11月

京都YWCAカルーナ運営委員会



がんばっています！

～入居して1年がすぎたYさんの近況報告です

こんにちは。初めまして。

去年の9月にカルーナに入居しました。今は、通信制の高校に通っています。来年の3月に卒業する予定です。時々体調が悪くて学校を休んでしまうこともありますが、ちゃんと単位は取れています。そして今はファミリーマートでアルバイトをしています。学校などの関係で週2回くらいのペースでしかシフトに入れませんが、自分なりの努力で頑張っています。やはり収入が少ないので経済的に大変ですが、教育奨励基金のおかげで大変助かっています。本当にありがとうございます。それから、来年高校を卒業した後は、就職をしようと思っています。お金を貯めて、自分の行きたい音楽の専門学校に通うためです。ちょっと遠回りですが、それもまた自分の経験になると思うので頑張っていきたいと思います。

今年の7月に神戸YMCAのワンキャンプ(*)に招待されました。私にとって初めてのキャンプでした。参加者はやさしい人ばかりで、本当に素敵な思い出をいっぱい作れたと思います。リーダーさんともとても仲良くなり、今でも連絡を取り合っ一緒に遊びに行ったりしています。8月には日韓ユース交流プログラムに参加しました。周りがみんな韓国の子達で、最初は言葉が通じなくてちょっと戸惑いましたが、スマホの通訳アプリで何とか会話できるようになってからは、みんなとても仲良くなっていきました。おかげさまで韓国のお友達を作る夢が叶ったので本当にこのプログラムに参加してよかったなと思います。

YWCAの人たちに感謝です。ありがとうございます。これからもいろいろとお世話になると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

(2018年度カルーナ基金奨学金受給者 Y)

*今年度も真如苑からの助成金を得て、「自律準備(応援)プログラム」を実施しています。心と身体のセルフケアを目指すプログラムに加えて、みんなでリフレッシュ・チャレンジ体験として、神戸YMCA主催の「One Camp」に参加させていただきました。